

**奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票**

調査日	2018年	4月	29日	記入者	中川邦子
調査者名	亀田	久門	鈴木	水間	中川

調査対象先	日本聖公会 高田基督教会堂				
所在地	大和高田市本郷町9-27			電話番号	0745-52-2182
代表者 調査対応者	牧師のヨシユア大藪義之さん				
対象文化財	彫刻	県指定:	件	国宝:	件
	建造物	県指定:	1件 1棟	国宝:	件 棟

**地震対策**

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input checked="" type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容		
	今後の予定		
	要望		
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない	<input type="checkbox"/> 資金が足りない
	今後の予定	<input checked="" type="checkbox"/> その他(県指定の高田基督教会堂はアーチ型のハンマービームトラスを採用し、柱や一部の梁が無い珍しい工法。現在、建物に歪みが出ており、補強工事に向け工法を検討している。)	
	要望	建築士の診断で、礼拝室は粘り強い構造だが東西方向に弱く、床・柱・瓦等の歪みや破損があることが判明。隣家との間隔が狭く足場を組んでの補修工事が難しいため対応策を検討中。 1889(明治22)年の創建後、1923(大正12)年の増築など創建当時の形式と変わっている箇所(窓の構造やデザインなど)がある。昔の写真に写っている様式に戻していきたい。	

**防火対策**

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済	<input type="radio"/> B:一部実施済	<input type="radio"/> C:未実施
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	礼拝室横の廊下に消火器と火災報知機を設置している。	
	今後の予定	特にない。	
	要望	建物密集地区にあり、もらい火が一番心配。過去に近所で火災があり、幸い延焼は免れたが、お互い防火に注意したい。	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない	<input type="checkbox"/> 資金が足りない
	今後の予定	<input type="checkbox"/> その他( )	
	要望		

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先

日本聖公会 高田基督教会堂

獣害・白アリ等の対策

① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答が Aの場合	どのような被害か	白アリ被害の箇所が所々ある。
③ 今後	今後の予定、要望	現在は白アリがないので、特に予定はない。

県指定の高田基督教会堂の西側正面

礼拝室正面



アーチの部分の木製のハンマービームトラス

教会堂の建物と共に長椅子なども一括で県指定に



礼拝室横の廊下の火災報知機(右上)と消火器

【調査票記入者(中川邦子)の感想】



教会の洋式建築としては奈良で最も古い。近隣と接している為、火災の不安・改修工事の足場設置の難しさなどがある。司祭さんは建物の特徴を活かしたコンサートを企画するなど、地域での活用を考えておられる。